

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成28年9月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は1から7に増加。「減少した」業種は13から5に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は10から6に減少。「減少した」業種は11から12に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は1のまま変化なし。「悪化した」業種は10のまま変化なし。

前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は3から7に増加。「減少した」業種は10から5に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は3から6に増加。「減少した」業種は15から12に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2から1に減少。「悪化した」業種は19から10に減少。

製造業

■ しょう油製造

【県内全域】

9/20、理事長、事務長、千葉大教授、インドネシア留学生、中央会専務理事5名で千葉県知事を表敬訪問し、千葉大学との連携による国際事業展開の取り組みを報告した。

■ 酒類製造

【県内全域】

低価格帯が比較的高い特定銘柄酒は引き続き好調も普通酒を含めた全体の出荷量は、依然として前年比微減の状況。底をつくまでには至っていないと思われる。

■ 製材

【県内全域】

業界動向は、高齢化・後継者問題あり。

■ 製材

【木更津】

9月は南用材、ロシア材、米材とも入港なし。在庫はすべて減少している。

■ 電気鍍金

【県内全域】

8月よりは稼働日数が多いため、伸びたが、対前年より低くなっている。

■ 鉄工

【千葉】

景況の変化について、組合員各社の動向は、ここ数カ月間特段の変化みられないものの、低位横ば

いとも言える。足踏み状態での推移が続いている。

■ 機械部品製造

【野田】

景況の変化について、全体的に、業績が前月よりは僅かながら好転した。各会員とも先行き不安な状況は変わらない。

■ 機械部品製造

【流山】

景況の変化について、休みの関係もあり、全体的に受注が少なくなっている。

■ 機械部品製造

【柏】

景況の変化は、アジア中心に停滞。業界動向は、開発・新製品の動きがあるが、量産につながらない。全体的に売上がのびない。組合の事業活動等は、IOTの進展に伴い、I Tの構築を検討する必要がある。

■ 金属製品

【船橋】

景気停滞感が続いている。下期の計画での回復傾向が考えられる。船橋市、船橋商工会議所との連携で、「共同ビジネスマッチング事業」を推進する。

■ 砕石

【県内全域】

9月期は出荷が少なく最悪である。豊洲の市場盛土の計画が突然うやむやになり期待が崩れ、我々の業界にとって痛手は大きい。横

浜管内での事業も想定されるが、今度の件は多方面に悪影響を及ぼすのではないかと危惧している。

■土砂採取

【県内全域】

前年同月比及び前月比とも変わらず、相変わらず停滞している。前年同月比については、今期に入り毎月のように減少している。また、東京を中心とした再開発案件、オリンピック関連工事の着工に期待するばかりとの報告もある。

非製造業

■総合卸売

【千葉県・東京都】

【漬物製造卸】台風の上陸が例年に比べ多く、その被害から原料野菜の仕入価格上昇。販売価格への転嫁が難しく、採算性低下。

■建築材料卸売

【県内全域】

景況の変化について、セメント需要千葉県前年比88、関東前年比95、全国平均前年比99。千葉は全国最下位から4番目の低迷が続いている。先行きの新規物件も払底しており闇は深い。

■乾物卸売

【県内全域】

景況の変化は、相変わらず低調。業界動向は、新年度海苔生産の準備が始まった。高水温のため、例年よりやや遅くのスタートのようだ。

■卸売

【茂原】

9月に入って日照が2日しかありません。台風及び長雨の影響で販売も向上しません。大型店の関係で中小小売店は益々厳しい状況に追い込まれております

■電気機器小売

【県内全域】

景況の変化について、家電販売の景況は、全体として良くないと認識で組合員は一致している。高齢者宅の家電無料安全点検を9月に実施した。

業界の動きについて、景況が悪くなると、通販が頑張っている。

■青果小売

【千葉】

台風の影響で近年にない程の高値相場の商品がでてきたのもあって売上が伸びたもので、動きが良かったのではない。従って収益性は悪化となった。

■中古車仕入・販売

【県内全域】

主催するオークション会場への来場者が9月中旬より減少したが、オークションの成績に影響はなかった。

■小売

【東金】

ファッション関連品は、減少。特に価格の高い商品の動きが鈍かった。日用品関連は回復傾向になってきた。食品関係は、相変わらず

客数減で苦戦をしている。

■小売

【野田】

景況の変化について、売上は前年同月をクリアしたが、客単価の低迷が不安材料である。特に、ファッション関連の店舗が顕著だ。

■小売・サービス

【柏】

景況の変化について、天候不順が一番影響していると思われるが、最悪の9月という感じ。残暑、台風というダブルパンチを受けた。当商工会では別要因として、

買回り品が8月末より続いたそこの閉店セールの影響を少なからず受けたと思われる。特に閉店3〜4日前からは感じられた。非会員だが商店街にある海鮮飲食店が1店閉店した。

■遊覧船

【鴨川】

景況の変化について、9月は、全体として入込数が芳しくなく、欠航日数が4日と昨年と比べて3日少ないにもかかわらず、売上・収益とも伸び悩んだ月となった。

■学習塾

【県内全域】

9月25日(日)、千葉市生涯学習センターを全室借り切って、恒例の「公立高等学校入試説明会」を実施。例年通りの盛況であった。

■土木建築サービス

【県内全域】

景況の変化について、9月日銀短観を見ると、円高の逆風を受ける自動車メーカーなどの大手製造業の景況感が横ばいであること、訪日客の伸び悩み、台風による客足への影響等もあり、消費者の安い製品を好む傾向の強まりで小売業も苦戦が続く、大型経済対策への期待感はあるものの、景況が上向き糸口がつかめず、景気のもとつきが長引いている。

■貨物運送

【野田】

景況の変化について、秋の収穫シーズンとなり米などの農作物は忙しくなっているが台風など大雨の被害の負の影響もある。

■輸出入

【野田】

景況の変化について、9月の売上は前月比は減少したが、前年同月比は不変であった。

